



事例は市町村町都道府県の補助金を受けず自営している。20 事例中 6 事例がリノベーションスクールを介して事業化されている。



図3：発端別時期年表

## 2章 日本まちやど協会からの5事例の調査分析

1章より日本まちやど協会に加盟する運営組織を①建築家による運営、②リノベーションスクールを通じての運営組織、③その他の個人運営組織に分類し、それぞれから1～2事例ずつ選定し、訪問調査を行った。



写真1：左 矢掛屋 中央 hanare 右 シーナと一平



写真2：左 guesthouseMARUYA 中央 ゲストハウスポルト 右 Tanga Table  
 2-1hanare(東京都台東区谷中) 分類①：設計事務所 HAGISTUDIO が運営の一部を担っている。日本まちやど協会と上記設計事務所との代表と同じ者が務めている。  
 2-2 シーナと一平(東京都豊島区) 分類①②：リノベーションスクールで事業計画され運営はその後に設立した家守舎シーナタウンが運営し、都電家守舎とブルースタジオが補助する体制となっている。

2-3guesthouseMARUYA(静岡県熱海) 分類②：リノベーションスクールで事業計画され(株) machimori が運営し特定非営利活動法人 atamista と同じ者が代表を務めている。

2-4 門司港ゲストハウスポルト(福岡県北九州市門司区) 分類③：合同会社ポルトが運営及び宿泊施設内で常駐勤務している。子供塾や飲食事業も行っている。

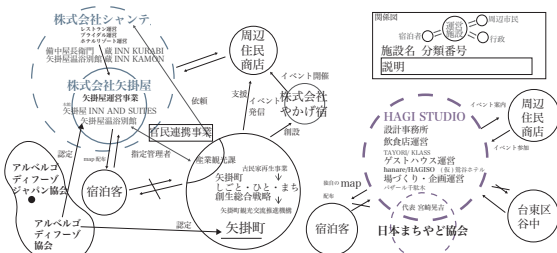
2-5 Tanga Table(福岡県北九州市小倉北区) 分類②：リノベーションスクールで事業計画され北九州家守舎の子会社として(株) タンガテーブルが運営している。

2章で調査した宿泊施設運営組織は行政との継続的な関係はない。また周辺住民や商店には食材の購入による貢献やその他の事業面での働き口となりまちの一部分

で直接的な貢献をしている。また宿泊施設の運営組織は既設の単一企業による事業展開だけでなく子会社型や新設型、二面型などそれぞれの業務の特徴により異なる形態である。

## 3章 矢掛屋の調査分析

AD タウンである矢掛屋を運営する(株) 矢掛屋は矢掛町から「矢掛町しごと・ひと・まち創生総合戦略」において(株) シャンテと官民連携し(株) 矢掛屋を設立し矢掛屋 INN AND SUITES 及び矢掛屋別館の指定管理者とした行政の事業の一部分である。(株) 矢掛屋においては現在も行政とイベント等で連携をしている。また AD の国内拠点として市内には AD ジャパン協会が設立され(株) 矢掛屋及び(株) シャンテと連携をとるなど分散型宿泊施設の新たな組織が設立されている。

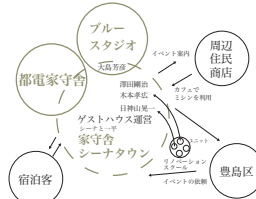


### 矢掛屋

子会社型(親:株シャンテ子:株矢掛屋) AD認定/矢掛町と官民連携で指定管理者 株シャンテ含め町内に5棟の宿泊施設展開

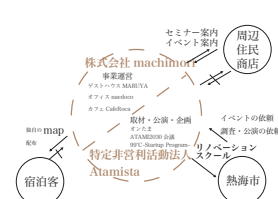
### hanare/HAGISO ①

単一型(HAGISTUDIOの事業の一部) 日本まちやど協会設立運営/イベント企画 設計事務所等谷中を中心に運営事業展開



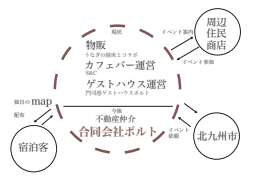
### シーナと一平 ①②

新設型(都電家守舎・ブルースタジオ協力) リノベーションスクールで豊島区と関係有リノベーションスクール補助も業務とする



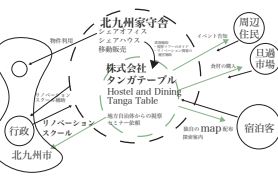
### guesthouseMARUYA ②

二面型(株 machimori 非営利法人 Atamista) リノベーションスクールで熱海市と関係有行政との関係は非営利法人 Atamista が行う



### 門司港ゲストハウスポルト ③

新設型(合同会社ポルト) 門司港地区内に運営事業を展開している 職場を宿泊施設内を利用している



### タンガテーブル ②

子会社型(親:北九州家守舎子:株タンガテーブル) リノベーションスクールで北九州市と関係有北九州家守舎の業務補助も行う

図4：宿泊施設の運営組織との関係図

## 終章 まとめ

国内における分散型宿泊施設をまとめる組織には日本まちやど協会と AD ジャパン協会が存在しともに民間団体である。日本まちやど協会の事例はそれぞれ運営方法・組織構成が異なり、伝統工芸や住民の生活の場を取り込む、市場や商店街でイベントを開催など地域に密着して事業を行っている。一方 AD タウンである矢掛屋は官民連携による取り組みである。また日本まちやど協会事例と矢掛屋の事例の全てにおいて施設は改修を基本に従前の建築形態や共有スペースを尊重している。

\*参考文献：日本まちやど協会HP・リノベリングHP